

インフルエンザ

☆ 症状 ☆

- ・ 高熱 — 2~3日続く
- ・ 全身の倦怠感
- ・ 筋肉を関節の痛み
- ・ 口咽頭痛
- ・ 咳、鼻水
- ・ 食欲不振

☆ 全身症状は 1週間くらい続く



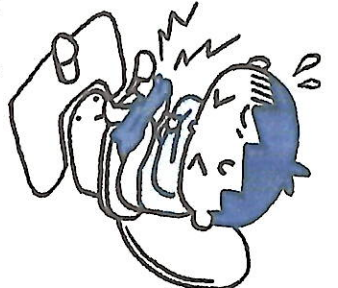
流行性嘔吐下痢症 (ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス)

☆ 症状 ☆

- ・ 突然の嘔吐
- ・ 下痢 (ロタの場合は白い便)
- ・ 発熱
- ・ 脱水
- ・ 合併症: けいれん、脳症



☆ 症状がなくなるとも ウイルスは10日間ほど排泄される



☆ 潜伏期 = 1~2日

☆ 感染経路 = 飛沫、接触

☆ 出席停止 = 発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過するまで

☆ インフルエンザになったら...

- ・ ぐまめに水分を補給する
- ・ 枕を高くして寝る
- ・ カロシ器やぬすタオルで室内の乾燥を防ぐ
- ・ 栄養バランスよく食べたいものを食べる



☆ 予防

- ・ ワクチン — 接種してから2週間後に効果がでる
- ・ 75%アルコールのある場合は接種できる
- ・ 消毒薬は効果的ではない

☆ 潜伏期 = 1~3日

☆ 感染経路 = 接触、経口、飛沫

☆ 出席停止 = 症状がおさまるまでに食事ができるまで

☆ 嘔吐下痢症になったら...

- ・ 水分を補給する
- ・ 消化のよい物を少しずつ食べる
- ・ 症状がひどいときは入浴を控える
- ・ 便も嘔吐物も、ゴミ袋に入れて処分する



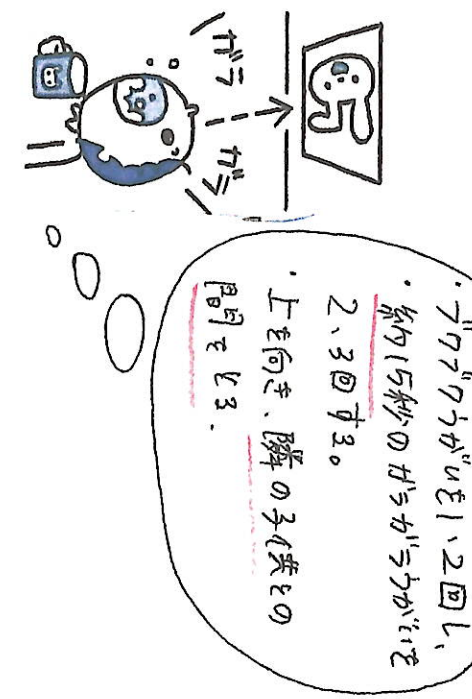
☆ 園での対応

- ・ 嘔吐した原因を把握する
- ・ 嘔吐した子供はうがいをし、口を拭く
- ・ 嘔吐物を拭き取り、消毒する
- ・ 嘔吐物を拭き取り、消毒する
- ・ 嘔吐物を拭き取り、消毒する

感染予防

☆ うがい ☆

- ・ うがいは、口の中でのびに付いたウイルスや細菌を減らしてくれる効果がある
- ・ のどの草を乾燥させる



手洗い ☆

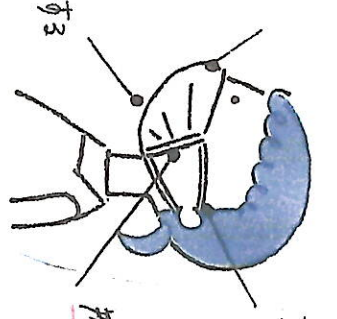
・ 手にはウイルスや細菌がたまるので、よく洗って清潔に保たせよう

☆ 正しい手洗いの方法

- ① "こすりこすり"
 せつけんをつけて、手のひらをごすり合わせます。
- ② "のびのび"
 手の甲に手のひらを重ねてごすりします。手を入れ替えて反対側の手の甲もごすりします。
- ③ "ゆびさきくるくる"
 手のひらに指先を置いて、クルクルとつめこ間を洗います。反対側の指先も洗います。
- ④ "かいたをぎゅつぎゅつ"
 両手を組み合わせて、指の間もごすり合わせて洗います。
- ⑤ "おやゆび"
 親指を握って、クルクルと洗います。反対側の親指も洗います。
- ⑥ "さいごに"
 手を握って洗います。反対側の手首も洗います。

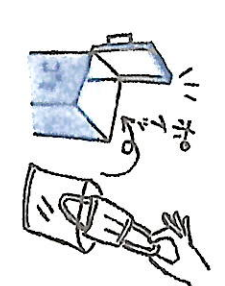
☆ マスク ☆

- ・ マスクは、飛沫は1~5m飛ぶといわれています。
- ・ 正しいつけ方



☆ 靴の消毒 ☆

- ・ マスクの表面を消毒する
- ・ 靴の表面を消毒する
- ・ 靴の表面を消毒する
- ・ 靴の表面を消毒する

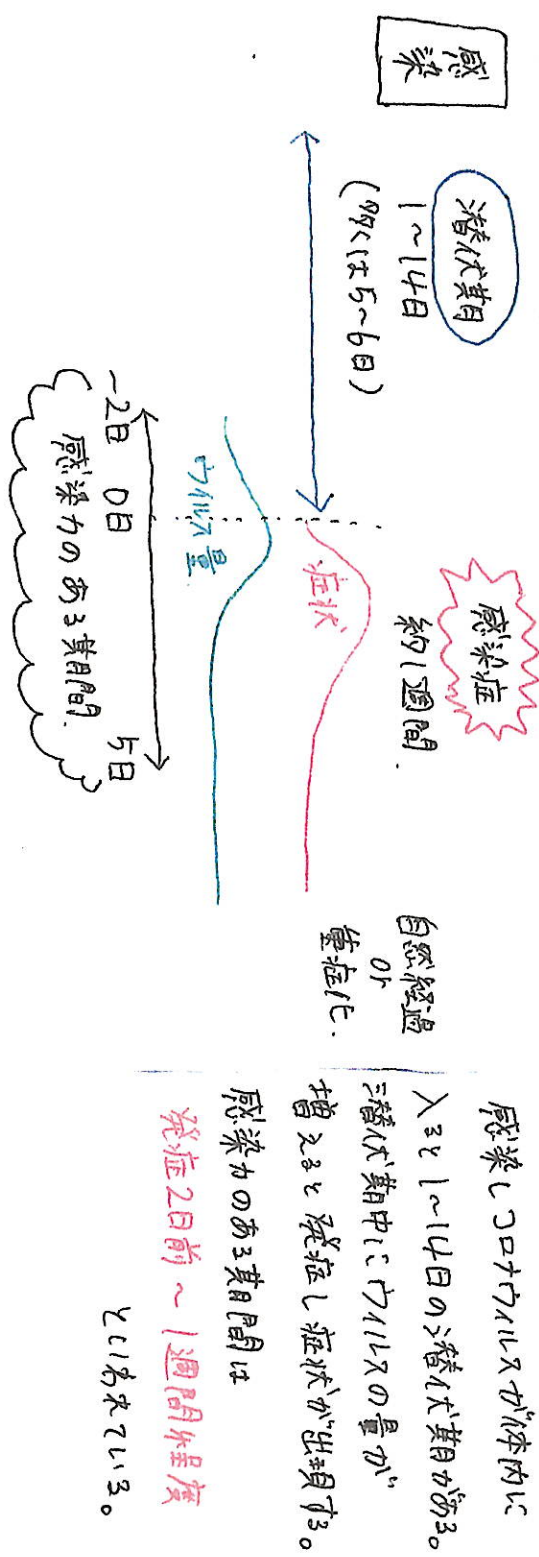


新型コロナウイルス

☆ コロナウイルスとは... ☆

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、新種のコロナウイルスに上, 231 引き起こされる感染症のこと。感染経路は、**飛沫感染** と **接触感染** である。

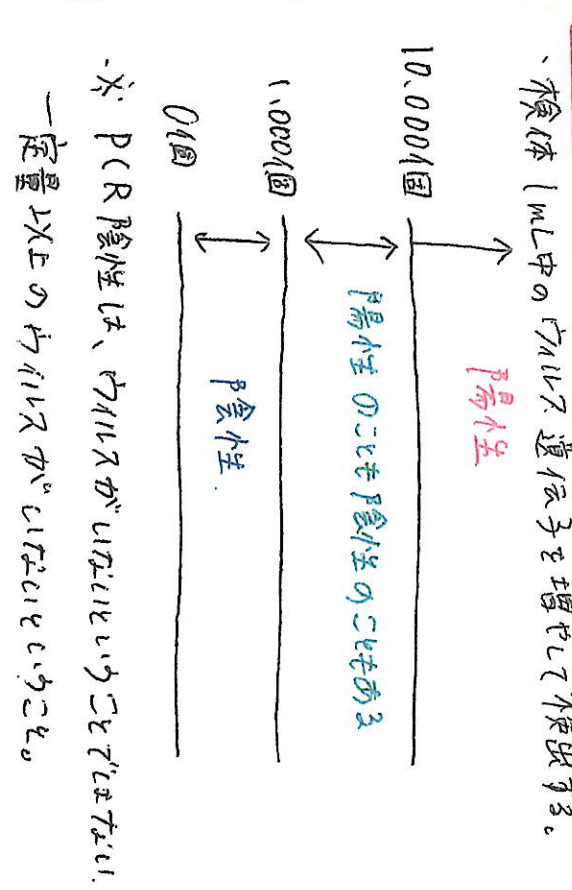
☆ 感染と発症 ☆



☆ 症状 ☆

- ・発熱
- ・だるさ
- ・咽頭痛
- ・咳
- ・鼻汁
- ・味覚異常
- ・頭痛
- ・筋肉痛
- ・悪寒
- ・嘔吐、下痢

☆ PCR検査とは... ☆



☆ 環境中の残存 ☆

- ・空気中 **30時間**
- ・プラスチックや金属で **2~3日**
- ・紙や布上では **残存しにくい**
- ノンアルコールより残存しやすい

△ 環境の消毒

- ・よく触れる表面の消毒剤消毒
- ・70~100% アルコールエタノールも 5~90% をしこませて叩く、くすりき取す。
- ・噴霧だけでは消毒効果が低い。
- ・床は通常の清掃で十分。

☆ 予防 ☆

・マスク

できるだけ不織布マスクを優先して使用。
近々で会話するときは必ず着用 (ずきまがないように) 人のいないところでマスクを外す必要はない。
※ 布マスクはウイルスがマスクをこまかい飛沫は filter 通過してしまふ。

・換気

窓の開放 (30分に1回、数分間)
窓を十分開けられない場合は空気清浄機を使う。
サーキュレーターの併用。

・手洗い

コロナ感染者の便のPCR検査は陽性。
流水、石鹸で十分に洗う。
2回手洗い、15秒を。

☆ もし、コロナウイルスに感染したら... ☆

- ・感染者は症状に気づいて入院、宿泊せ自宅療養。
- ・発症 / 陽性 2日前の所属した場所の消毒清掃
- ・濃厚接触者リストの作成。
- ・濃厚接触者 → PCR検査。
- ・濃厚接触者の14日間の自宅待機。

水道水は使わない

● 床に飛散した便・吐物等の処理手順

- ① 使い捨てのマスクと手袋、エプロン(ガウン)を着用する。
- ② 汚物中のウイルスが飛び散らないように、便・吐物をペーパータオルや新聞紙等で静かに集める様に拭き取り、ビニール袋に回収する。



※ 便や吐物が付着した汚用服・タオルなどは洗わず、ビニール袋(二重にして)入れ、密閉し、持ち帰ります！

- ③ 拭き取りに使用したペーパータオル・新聞紙等は、同じ袋に入れる。
- ④ 回収した便・吐物を入れた袋に、0.1%ハイター(6%ハイターを60倍希釈)を適量浸す。

↓
液のつりおきては「ふいでのい」(効果が持続する)その都度作ります。

水1ℓに次亜、ハイターを17ml入れます。
ハイターが1杯...25ml
ハイター1杯...25ml

- ⑤ 手袋、エプロンをはずし、袋に入水で密閉する。
- ⑥ (新しい手袋を着用し) 便・吐物が付着した手等は、0.1%ハイターを浸したペーパータオルで5分間浸し、その糸球体を取り除く。

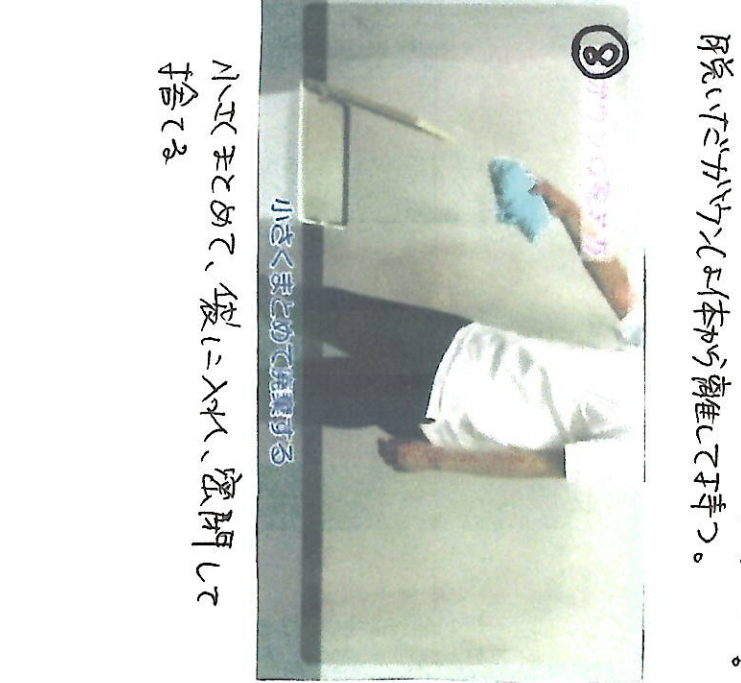
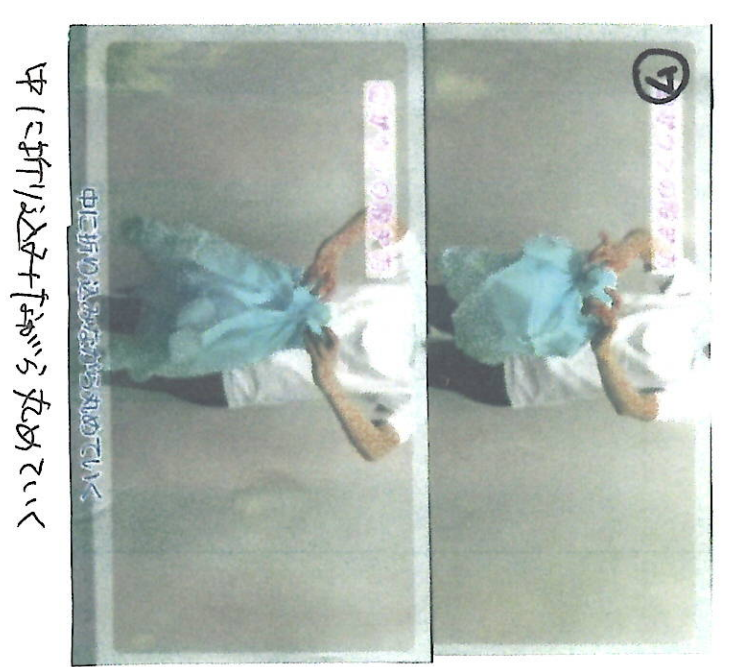
ノロウイルスは、乾燥すると容易に空中に漂い、水を吸い込んで感染することがあるため、吐物や便は乾燥させない事が大事です。



★ 感染した子供が触った場所(例えば、0.02%ハイターで消毒する。(ペーパータオル拭く) ↓
ビン、机、トイレ便座消毒

水1ℓに次亜、ハイター4ml入れます

◀ 汚染したガウンの脱ぎ方 ▶



中に折り込みに合わせて、中を折り込みながら袋に入れていく

小さくまとめて袋に入れる

小袋をまとめて、袋に入水、密閉して捨てる